

平成 27 年度「深田研究助成」

研究・調査助成申請書

平成 年 月 日

公益財団法人深田地質研究所
理事長 滝口 志郎 殿

貴研究所の研究・調査助成を受けたく、別紙のとおり申請いたします。

課題名 _____

ふりがな
申請者名 _____ 印

所属機関名 _____

所属部署 _____

〒

住 所 _____

TEL :

FAX :

E-mail :

※「深田研究助成」申請書作成上の注意

- ・当研究所からの連絡は、所属機関宛に行います。所属機関名の下住所欄には、教室番号、教室名もしくは研究室名等も明記して下さい。

申請者略歴

氏 名		生年月日	昭和 平成	年	月	日 (満 歳)
学 歴	年 月 大学 学部 学科卒 年 月 大学大学院修士課程 (研究科) 入学 (研究指導者) 年 月 同上修士課程修了 年 月 大学大学院博士後期課程 (研究科) 入学 (研究指導者) 年 月 同上博士後期課程修了 年 月 博士の学位取得 (取得機関)					
職 歴	(これまでの職歴あるいは就職予定を記載して下さい.) 年 月					

研究・調査課題記入用紙

1. 申請者氏名	2. 申請者所属機関および職名
3. 研究（調査）課題名	
4. 研究課題のキーワード（別紙1に示す科学研究費「分野・分科・細目表」付キーワード一覧に準拠した項目の中から研究内容に最も適当と思われるキーワードを1つ、それ以外に必要なに応じて、3つ以内でキーワードを書き加えて下さい。）	
<ul style="list-style-type: none">・研究課題主要キーワード（1）：・関連するキーワード（3以内）：	
5. 目的（募集要項に示す対象課題に関する独創的な課題であることがわかるように記載してください。また、共同研究である場合は、研究上の役割分担とその意義についても明記してください。）	
<div>(足りない場合は、1 ページ追加可)</div>	

6. 方法と成果（研究の①具体的方法, ②期待される成果を記載して下さい.）

（足りない場合は, 1 ページ追加可）

7. その他参考となる事項（申請課題設定までの経過あるいはその他の関連研究について簡潔に記載して下さい。）

関連研究業績の引用は、次の項目に関し記載してください。

著者名，発表年（西暦），論文名，学協会誌名，巻（号），最初と最後の頁

（足りない場合は、1 ページ追加可）

8. 助成金申請額

円

助成金使用内訳書

課題名				申請者氏名	
消耗品費		旅 費		その他	
品 名	金 額	事 項	金 額	事 項	金 額
計		計		計	
合計 円					

平成 年 月 日

推 薦 書

所属： 氏名：

課題名：

平成 26 年 12 月 1 日付け，貴研究所の推薦依頼に基づいて，上記の者を推薦いたします。

(所属機関・役職)

(推薦者)



<推薦理由>

(足りない場合は，1 ページ追加可)

※推薦者は，申請者を直接指導する方とします。

別紙1：研究課題キーワード（科研費キーワードに準拠して作成）

【社会・安全システム科学】

101 自然災害科学・防災学

(1)地震動, (2)液状化, (3)活断層, (4)津波, (5)火山噴火, (6)火山噴出物・土石流, (7)地震災害, (8)火山災害, (9)被害予想・分析・対策, (10)建造物防災, (11)水災害, (12)地盤災害, (13)土砂流, (14)自然災害予測・分析・対策, (15)ライフライン防災, (16)地域防災計画・政策, (17)復旧・復興工学, (18)災害リスク評価

【地球惑星科学】

201 固体地球惑星物理学

(1)地震現象, (2)火山現象, (3)地震発生予測・火山噴火予測, (4)地震災害・火山災害, (5)地殻変動・海底変動, (6)地磁気, (7)重力, (8)テクトニクス, (9)内部構造, (10)内部ダイナミクス・物性, (14)観測手法

202 気象・海洋物理・陸水学

(1)地球環境システム, (2)海洋環境, (3)陸域水循環・物質循環, (4)水収支

203 地質・地形学

(1)地域地質, (2)海洋地質, (3)付加体・造山帯, (4)構造地質・テクトニクス, (5)火山・活断層・災害地質, (6)環境・水理地質, (7)第四紀学, (8)応用・都市地質, (9)堆積・燃料地質, (10)地球史・惑星地質, (11)情報地質, (12)地学史, (13)地形

204 層位・古生物学

(1)層序, (2)化石, (3)系統・進化・多様性, (4)機能・形態, (5)古生態, (6)古生物地理, (7)古環境, (8)古海洋

205 岩石・鉱物・鉱床学

(1)地球惑星物質, (2)地球惑星進化, (3)地殻・マントル・核, (4)マグマ・火成岩, (5)変成岩, (6)鉱物物理, (7)天然・人工結晶, (8)元素分別濃集過程, (9)鉱床

形成, (10) 鉱物資源, (11) 生体・環境鉱物

【資源・エネルギー工学】

301 地球・資源システム工学

(1) 応用地質, (2) 地殻工学, (3) リモートセンシング, (4) 地球計測, (5) 地球システム, (6) 資源探査, (7) 資源開発, (8) 資源評価, (9) 資源処理, (10) 廃棄物地下保存・処分, (11) 地層汚染修復, (12) 深地層開発, (13) 素材資源, (14) 再生可能資源・エネルギー, (15) 資源経済

302 エネルギー学

(1) 自然エネルギーの利用

【地盤・建設工学】

401 構造工学・地震工学・維持管理工学

(1) 地震工学, (2) 耐震構造, (3) 地震防災, (4) 維持管理工学

402 地盤工学

(1) 土質力学, (2) 基礎工学, (3) 岩盤工学, (4) 土质地質, (5) 地盤の挙動, (6) 地盤と構造物, (7) 地盤防災, (8) 地盤環境工学, (9) トンネル工学, (10) 探査工学

403 水工学

(1) 水理学, (2) 環境水理学, (3) 水文学, (4) 河川工学, (5) 水資源工学, (6) 海岸工学, (7) 港湾工学, (8) 海洋工学

404 土木環境システム

(1) 環境計画・管理, (2) 環境システム, (3) 環境保全, (4) 用排水システム, (5) 廃棄物, (6) 土壌・水環境